

診療科目 ● 外科治療学

プログラム責任者：益田 宗孝

附属病院	心臓血管外科 / 一般外科 (消化器、呼吸器、内分泌・乳腺)
主任教授	益田 宗孝 (心臓血管外科部長)
准教授	利野 靖 (一般外科部長)、磯松幸尚 (心臓血管外科・小児循環器科部長)、鈴木伸一 (心臓血管外科) 湯川寛夫 (消化器)、大島貴 (消化器)
講師	郷田素彦 (心臓血管外科)
助教	山本直人 (消化器)、原田浩 (消化器)、中山博貴 (乳腺甲状腺)、稲荷均 (乳腺甲状腺)、石川善啓 (呼吸器)、山田貴允 (消化器)、町田大輔 (心臓血管)
附属市民総合医療センター	心血管センター / 消化器病センター / 呼吸器病センター / 乳腺甲状腺外科 / 救命救急センター
診療科部長	井元清隆 (教授 心臓血管外科)、乾 健二 (教授 呼吸器外科)
准教授	円谷彰 (消化器)、内田敬二 (心臓血管外科)、磯田晋 (心臓血管外科)
講師	軽部義久 (心臓血管外科)
診療講師	虫明寛行 (消化器)、益戸功彦 (乳腺甲状腺)
助教	菅野伸洋 (消化器)、高橋航 (救命救急)、笠間啓一郎 (心臓血管外科)、永島琢也 (呼吸器)、加藤真 (救命救急)、齋藤志子 (呼吸器)、根本寛子 (心臓血管外科)、伏見謙一 (心臓血管外科)

本プログラムの特徴

横浜市立大学附属病院では、安全で良質な患者中心の医療を提供し地域に貢献できる医師を育成するため、初期臨床研修終了後の後期臨床研修「横浜市立大学附属病院 専門医キャリアデザインシステム」を開始しております。当科では外科の専門医及び上級専門医を目指す医師を対象に後期研修プログラムを作成しております。横浜市立大学附属病院及び関連施設・病院（関連施設及び病院の項を参照下さい）において3年間の研修を受けていただき、まずは外科の専門医を目指すことになります。外科の専門医習得には予備試験（筆記試験：修練開始登録後満4年以上経た段階で受験資格が得られる）合格後、規定の修練を全て経験した段階（修練開始登録後満5年以上）で認定試験（面接試験）を合格する必要があります。修練実績として、最低350例（消化管及び腹部内臓50例、乳腺10例、呼吸器10例、心臓・大血管10例、末梢血管10例、頭頸部・体表・内分泌外科10例、小児外科10例、各臓器の外傷10例、鏡視下手術10例）の手術経験が必要で、内、術者として120例が要求されています。また、学会における研究発表または論文発表が必要となります。

当科の大学病院及び関連施設・病院における各疾患の年間手術例数はおおよそ下記の如くで、外科専門医の修練には十分な症例数を有しております。

外科専門医の上に位置する専門医として、消化器外科専門医、心臓血管外科専門医、呼吸器外科専門医、消化管内視鏡学会専門医などがあります。後期研修終了後、外科におけるサブスペシャリティとして目標となるものですが、当科では関連施設・病院を含めて多彩な疾患を扱っており、希望する進路が選択できます。

目標とする学会認定専門資格

外科学会専門医

サブスペシャリティ専門医：消化器外科専門医、心臓血管外科専門医、呼吸器外科専門医

内分泌外科専門医、乳腺専門医、消化管内視鏡学会専門医、内視鏡外科学会技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医

主な協力病院

県立がんセンター、県立循環器呼吸器病センター、県立こども医療センター、横浜市民病院、横浜南共済病院、済生会横浜市南部病院、横浜労災病院、関東労災病院、横浜医療センター、県立足柄上病院、平塚共済病院、藤沢湘南台病院、藤沢市民病院、秦野赤十字病院、横須賀共済病院、三浦市立病院、国際医療福祉大学熱海病院、伊藤病院、横浜総合病院など

診療科のホームページ URL	担当者・連絡先
http://www.first-surgery.jp/	医局長 山本 直人
https://www.facebook.com/ycu.surgery	naoto_y@yokohama-cu.ac.jp

診療科の実績

大学・関連病院含めて	
消化器	2700
呼吸器	900
心臓・大血管	700
末梢血管	500
乳腺	700
甲状腺・内分泌 (伊藤病院含む)	1800
小児外科	235

* 毎年10名ほどの外科専門医の修練受け入れに必要な症例数を有しています。

指導医から一言

当教室は外科専門医の修練に必要な多岐にわたる症例の種類と症例数を持っており、外科専門医獲得を目指す医師にとって十分な教育プログラムを構築しております。さらに上級医を目指す人には、心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、内分泌甲状腺外科、乳腺専門医などのサブスペシャリティに進んでいただけます。また、外科を基本として救急救命や小児外科医を目指す人には関連施設などを通じて修練を積んでもらえる準備をしております。また、消化器・腫瘍外科との間でプログラムの交流を準備しており、希望者は消化器・腫瘍外科のプログラムへの参加も可能になります。主な協力病院をご覧頂ければお分かりの通り、当教室は神奈川県における外科治療の大きな一翼を担っており、幅広い人材の育成に努めております。外科医を目指す若い諸君が当教室のプログラムへ参加していただけることを希望しております。

シニアレジデントからのメッセージ

平成24年～26年度の3年間、外科治療学のプログラムでシニアレジデントとして研修していました。3年間のうち1年半は市中病院、残りの1年半は附属2病院で研修を行いました。外科治療学では、心臓血管、消化器、呼吸器、乳腺甲状腺内分泌といった幅広い範囲の診療を行っており、また附属2病院および関連病院での症例も豊富であり、指導医の先生方も充実しているため、外科専門医取得を目指すレジデントにとっては最適な体制が整っていると感じました。また、外科専門医取得後の選択肢も広く、各分野のサブスペシャリティ専門医取得を目指したり、様々な市中病院で経験を積んでジェネラリストとして活躍することも可能です。さらに、このような臨床に加え、研究・教育にも力をいれており、大学ラボでの研究以外にも、最近では各関連病院の垣根を越えた若手主体の研究グループが立ち上がり、多くの若手外科医が参加しての活発な活動が行われています。外科に興味のある方は、是非一度説明会や見学に来て当教室の雰囲気を感じて頂けたらと思います。

